

テーマ 01

データ活用による 避難情報発令判断の迅速化

災害発生時に避難情報発令を迅速かつ正確に行うために、各種データを安価かつリアルタイムで取得し、予め市が策定している発令基準に照らして避難が必要な地域と発令タイミングが検討できるソリューションを募集します。

データ例

河川、水路、アンダーパス、大雨時冠水箇所、防災重点ため池、ダム等の水位
土砂災害警戒区域・特別警戒区域の雨量・土砂災害危険度等。

気象庁の警報やキキクルなどの防災気象情報等。



テーマ1 詳細

<背景>

- 台風や大雨時には、国や都道府県等が公表する多種多様な情報を監視・収集して、土砂災害や河川氾濫、防災重点ため池の氾濫等に備えて、事前に避難情報を発令し、避難を呼びかける必要がある。
- 土砂災害危険度のようなリアルタイム及び予測のメッシュ情報や、雨量及び河川水位等の時系列情報、気象警報などの定性的な電文情報などの時々刻々変わる多様な情報があり、監視業務の負担は大きい。

<課題>

- 各種データが自動的に収集され、避難情報発令基準に照らした監視やアラート通知が自動的に行われる環境が整うこと。
- 避難情報の発令が必要な地域が、キキクル（危険度分布）等の情報から自動的に絞り込まれ、システムからアドバイスを随時得られること。
- 現地のリアルタイム情報（例：大雨時冠水箇所やアンダーパス等の冠水状況、ため池の水位情報等）や雨量等による予測から、現況や危険度を把握するサポートが得られること。

【参考】発令判断における監視情報の例

【気象庁】

- 気象警報・注意報
- キキクル（危険度分布）
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 記録的短時間大雨情報
- 指定河川洪水予報
- 最新の津波警報・津波注意報・津波予報
- 地震情報

【国土交通省】

- 川の防災情報

【宮城県】

- 宮城県河川情報システム
- 宮城県土砂災害警戒情報システム